

平成29年度決算報告と平成30年度予算

(単位：千円)

貸借対照表

平成30年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	106,916	【流動負債】	25,477
【固定資産】	26,038	【固定負債】	0
有形固定資産	22,325		
無形固定資産	183		
投資その他の資産	3,530	【当期正味財産】	107,477
資産の部合計	132,954	負債及び純資産合計	132,954

活動計算書

科目	平成29年度 予算	平成29年度 決算	平成30年度 予算
I 経常収益			
1,受取会費	770	852	800
2,受取寄附金	2,080	2,402	2,260
3,事業収益			
就労支援事業収益	126,920	126,529	115,920
障害福祉サービス事業収益	322,383	312,457	310,863
4,その他収益	500	692	1,105
経常収益計	452,653	442,932	430,948
II 経常費用			
1,事業費			
(1)人件費	213,681	204,286	207,946
(2)就労支援事業費	124,820	127,964	116,580
(3)その他経費	70,212	67,899	69,645
事業費計	408,713	400,149	394,171
2,管理費			
(1)人件費	22,526	22,305	24,235
(2)その他経費	10,661	10,421	11,416
管理費計	33,187	32,726	35,651
経常費用計	441,900	432,876	429,822
当期経常増減額	10,753	10,056	1,126
III 経常外収益			
1,施設整備等補助金収益	2,520	1,275	500
2,その他の特別収益	0	20	0
経常外収益計	2,520	1,295	500
IV 経常外費用			
1,固定資産除却損他	0	108	0
経常外収益増減額	2,520	1,187	500
当期正味財産増減額	13,273	11,242	1,626
前期繰越正味財産額	96,235	96,235	107,477
次期繰越正味財産額	109,508	107,477	109,103

平成30年度事業計画

重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ①本人を尊重した個別支援計画の作成の実施
 - ②本人を主体とした実践の振り返り（評価）
- (2) 安定した運営の実現
 - ①法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ②新人事制度導入に伴うキャリアアップ制度の運用
 - ③職員のメンタルヘルスケアについて、相談機関の活用を行う。
 - ④人材育成のための職員研修の実施
 - ⑤労務管理システムの見直しと構築
 - ⑥防災・防犯体制の構築
 - ⑦車輛管理と安全、危機管理対策
 - ⑧苦情解決体制の整備
- (3) 事業展開と今後の見通し
 - ①成人向けの事業の検討
 - ②法改正に伴う関係機関との連携と、より円滑な事業体制づくり
 - ③児童向けの放課後等支援に関する事業の検討
 - ④建物維持のための補修工事
 - ⑤指定共同生活援助に関する事業の検討

平成29年度を振り返って

事業部長 露口信行

老子や親鸞は“やわらかな心”を持つことが大切だと教えてくれました。

現在の日本は、これまでの成長の時代から、これからの超高齢化社会に向けて、地域共生社会の実現と国は言っています。我が事、丸ごと支え合う・・・綺麗な言い方に聞こえますが、人口が減ることでの税収減少問題を、障がいのある方や高齢の方など支えが必要な方へも、自分のことは自分でやって、生産性をどんどん産んで欲しいというメッセージが込められた施策のようにも感じます。

そんな背景の中、受容できないものを排除する極端な考え方が生まれたことが、昨今の理解しがたい事件に反映しているのかもしれないと思っているのは私だけではないと思います。

トトムの平成29年度の実績は、数字上では地固めできる結果となりましたが、数字の裏側にある大事な構え方が未だできていないと実感しています。当法人で展開している支援それぞれが、優しく補い合い、かばい合って、情のある“やわらかな心”で、総合的にご利用者を支える社会づくりを、平成30年度は、より一層進めていきます。私たちの将来のために。